

第1回 二級河川月光川水系流域委員会 議事概要

日時：平成29年8月31日（木）

13時30分～15時30分

場所：遊佐町生涯学習センター 大会議室

6 流域委員会 規約等について

(1) 規約（案）、傍聴規定（案）について

規約（案）および傍聴規定（案）について承認された。

(2) 委員長について

委員長は前川勝朗委員、副委員長は石垣敏勝委員となった。

7 議事

(1) 河川整備計画策定について

○：委員からの質問・意見

●：事務局からの説明・回答

○ 月光川ダムはS53に竣工してから年数が経過しているが、その効果などは整理されているのか？

● 幸いなことに月光川で洪水調節を行うような洪水はこれまでに発生していない。

○ 渇水が生じた際に決められた容量以外に使用するようなダムの弾力的運用なども実施出来ないのか。

● 治水専用ダムで利水容量を貯めることが出来ないため実施できない。

○ ショートカット区間は整備後の年数も経過しており後処理を実施して欲しい。

○ 月光川頭首工の上流側にヨシなどが繁茂しており、このような流れでも月光川頭首工に入っているのか、川の中はいたずらしてほしくない。

また、ダムの上流の工事の際に巨石を割っているのはなぜか。

● 巨石をそのまま撤去するには受け入れ先がなく、国交省の高速道路の整備で受け入れてもらうために分割していた。

○ 散歩しながら橋の上からサケの遡上を見ることが好きである。小さい頃は貝やドジョウなどをとって食べたりしていた。水がきれい自然災害が少ない川である。

○ 魚の観察（フィッシュウォッチング）を考えている。月光川は水がきれいで、川で魚を見

ることは水族館で魚を見るのとは違う。昼間は隠れていて見えないが、夜に月光川沿いを散策するとアユ、カジカなどを見ることができる。月光川でサケの孵化事業は20年以上実施していないため、現在遡上しているサケは自然産卵のサケである。月光川では間近で自然産卵しているサケを見ることができる。月光川は比較的規模が小さく、水深も深くなく、安全に魚を見るには良い環境なので、魚を安全に観察できるような場を整備して欲しい。

- 相談しながら考えていきたいと思う。

- 現状で尻引橋のあたりが一番危ないと思って見ている。上流側を改修したツケが尻引橋にきているのではないかと。尻引橋の区間を改修すると宮田橋の区間に負荷がかかるのではないかと。決壊・越流して困るのは朝日橋の上流の左岸と江地橋の右岸である。次は江地橋から宮田橋の間の右岸が危なくなると思っている。旧川を調整池のような機能として利用できないかとか、全体的に見ながら話をしてもらえるとありがたい。
- 集落を守るという点で自然堤防や遊水地の利用など、個々のところで策があるのではないかと。高速道路なども整備されている、これも関わってくるのではないかとと思う。
- 高速道路自体を避難場所として利用している事例があり、車道とは違う所に避難場所を整備している。この場所でも検証の中で活かせるか考えていきたい。
- 高速道路のインター整備箇所（高瀬川の合流地点）は津波が到達するエリアである。うまく知恵を出して、多様な利用ができるようにして欲しい。高速が津波の堤防になったり、一石二鳥三鳥になるように考えられればと思う。
- 整備計画の周辺の施設などもあるので面的に見ることも重要である。
- 基本方針策定時に検討した資料や、津波関係でも現在公表している資料もあるので、面的な位置付け等は次回の委員会で提出したいと思う。

- 基本方針はどのように作成したのか。
- 県が主体でとりまとめ、国に申請し同意をもらっている資料である。すでに公表済みである。既存資料を利用したり、必要に応じて河道内・周辺環境の調査など実施してとりまとめたものである。
- 基本方針の環境の箇所で適切でない表記などがあるので、できれば修正をしたほうが良い。月光川は人を寄せ付けない（簡単には降りられない）川という印象である。水と触れ合うような工夫をして欲しい。
ヨシ群落が少なくなっており、オオヨシキリのなわばりもなくなっている。景観や植物群落の機能の観点からも検討して欲しい。個々の貴重種も大事だが、群落も大事だと思う。保護、保全も大事だが創出も大事である。水田、屋敷林などはあるが人里を緑豊かにして欲しい。
- 基本方針は公表済みのため修正は難しいが、文言は正式に修正すべきでもあるので個別に聞き取りなどをさせていただきたい。全ての指摘を修正することは難しいが、固有名称等の修正点をご教授いただきたい。

- 治水、利水の影響の無い範囲で子どもたちが川に降りて安全に遊べるような場所を整備して欲しい。

川は定期的な年変動で水がかぶる部分と、数年に一回の洪水で水がかぶる部分があり、その都度上流から土砂と一緒に流される。土砂をうまく流すことが重要で、支障木となる大木を生やさないためにも定期的にフラッシュされた方が良い。

- 今後の委員会で環境整備、施設整備の入れ込みができるかも含めて提案させていただくことになるかと思う。